

希望に満ちあふれた

まちづくりには **109** 億円



お知らせします！

まちの行財政 **2019**

岩手県葛巻町 令和元年度予算説明書

## 発行にあたって



岩手県 葛巻町長  
鈴木重男

町民の皆様には、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は元号が平成から令和に変わり、まさに新しい時代の幕開けとなる年度となります。

このような中、令和元年度予算においては、今後の町づくりの新たな拠点施設となる、役場新庁舎の建設事業費が盛り込まれました。この新しい庁舎には、行政機能をはじめ、文化交流機能、商工金融機能、防災機能など複合的な機能を集約する計画であり、新たな町のシンボルとして、町づくりの大きな役割を担う施設になるものと確信しております。

また、町が最重要課題と位置付けている「人口減少問題」に引き続き注力することとしており、移住者の確保に向けた施策や、町民の皆さんの生活支援に取り組んで参ります。さらに、酪農や林業など、基幹産業の振興に向けた新規事業を多数盛り込み、安定的な雇用環境の確保と、町民所得の向上に向けた対策をより一層強化して参ります。

このほか、保育所や小中学校の学習環境の改善、山村留学制度の運用や公営学習塾による高等教育支援などを通し、町の次代を担う子どもたちが安心して学び、様々なことに挑戦できる環境の整備にも、引き続き取り組んで参ります。

本年度も町民の皆様と行政とが一体となり、町に誇りと愛着を持ち、日々の生活に幸せを感じながら暮らすことができるまちづくりを進めて参りたいと考えておりますので、今後とも行政運営に対しまして、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 5 月

## 目次

- 1 p 発行にあたって
- 2 p まちの予算の状況
- 6 p 総合計画体系別の予算の状況
- 22p まちの決算の状況
- 29p まちの財務書類

# 令和元年度 まちの 予算 の状況

## ■予算額 (平成 30 年度対比)

令和元年度の町の一般会計予算は、役場庁舎建設事業費など、普通建設事業費が前年比で約 7 億円増加したことなどにより、予算総額では前年比 14.2%増の 69 億 9,217 万円となりました。特別会計は、3つの会計の合計が 12 億 5,117 万円で、一般会計と3つの特別会計の合計額は、82 億 4,334 万円（前年度比 10.9%増）となっています。

企業会計では、病院事業会計の資本的支出が病院改築事業に係る企業債の償還費の増により大きく増加した一方、水道事業会計の資本的支出については、江刈地区水道整備事業に係る事業費分が減となったことにより、前年度比で△75.5%の大幅な減額となっています。

山村留学生寄宿舍整備事業、茶屋場田子線整備事業、役場庁舎建設事業費（実施設計分）、草地畜産基盤整備事業など、平成 30 年度から令和元年度に繰り越される事業費は、総額で 11 億 8,430 万円となり、全ての会計の当初予算と繰越予算額を合わせた総予算額は 109 億 1,961 万円となっています。

### 一般会計・特別会計

会 計 名	令和元年度	平成 30 年度	増 減 額 (伸率)
一 般 会 計	69 億 9,217 万円	61 億 2,366 万円	8 億 6,851 万円 ( 14.2%)
特 別 会 計	12 億 5,117 万円	13 億 999 万円	△5,882 万円 ( △4.5%)
国民健康保険事業勘定	9 億 6,631 万円	10 億 2,781 万円	△6,150 万円 ( △6.0%)
農業集落排水事業	2 億 1,259 万円	2 億 818 万円	441 万円 ( 2.1%)
後期高齢者医療事業	7,227 万円	7,400 万円	△173 万円 ( △2.3%)
合 計	82 億 4,334 万円	74 億 3,365 万円	8 億 970 万円 ( 10.9%)

### 企業会計

国民健康保険病院事業会計			令和元年度	平成 30 年度	増 減 額 (伸率)
病院事業会計	収益的収支	収 入	11 億 60 万円	10 億 8,963 万円	1,097 万円 ( 1.0%)
		支 出	11 億 60 万円	11 億 4,951 万円	△ 4,891 万円 ( △4.3%)
	資本的収支	収 入	4,471 万円	882 万円	3,589 万円 ( 407.2%)
		支 出	8,189 万円	1,403 万円	6,786 万円 ( 483.6%)
水道事業会計	収益的収支	収 入	1 億 9,078 万円	1 億 8,032 万円	1,046 万円 ( 5.8%)
		支 出	2 億 721 万円	2 億 420 万円	301 万円 ( 1.5%)
	資本的収支	収 入	6,192 万円	4 億 1,733 万円	△3 億 5,541 万円 (△85.2%)
		支 出	1 億 227 万円	4 億 1,733 万円	△3 億 1,506 万円 (△75.5%)
前年度からの繰越			11 億 8,430 万円	13 億 3,786 万円	△1 億 5,356 万円 ( 46.5%)
総 合 計			109 億 1,961 万円	117 億 640 万円	△7 億 8,679 万円 (△ 9.8%)

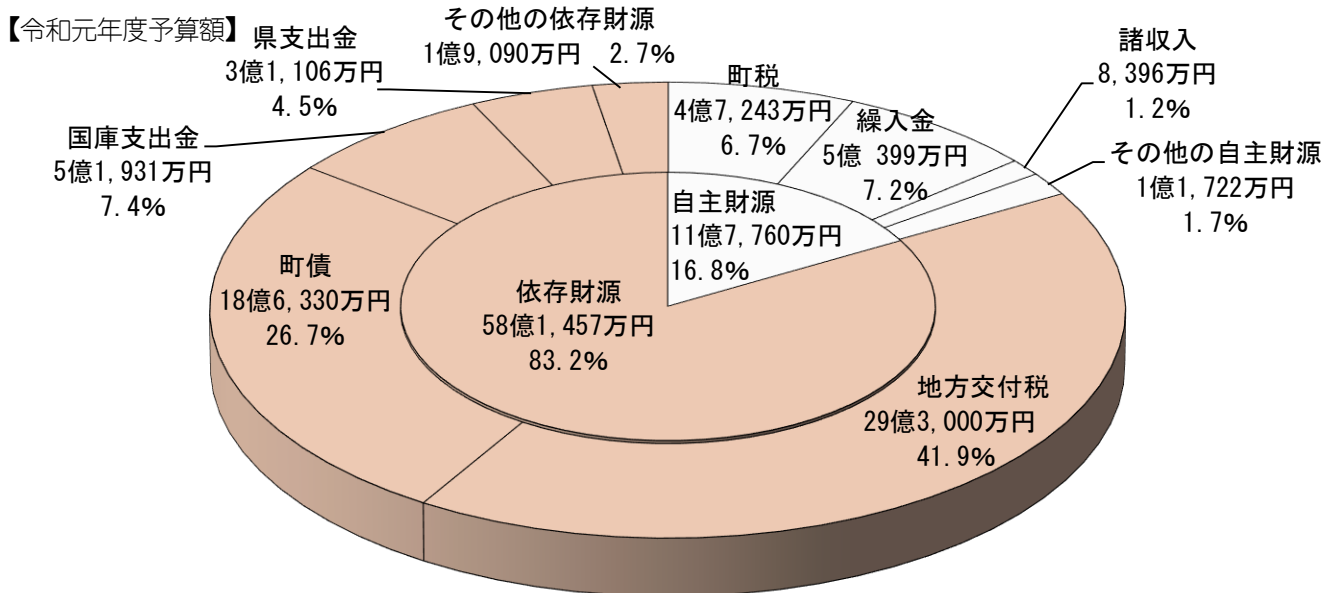
※ 収益的収支は、経営活動によって発生する全ての収入と支出のことをいい、資本的収支は、病院建設などの建設改良等に係る収入と支出のことをいいます。

## ■一般会計 歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

令和元年度予算の自主財源割合は16.8%で、平成30年度の21.3%に比べ4.5ポイント減少していますが、これは庁舎建設事業に係る町債（依存財源）が増加したことが主な要因です。

項 目		令和元年度予算額 (構成比率)	平成30年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	4億7,243万円 (6.7%)	4億8,896万円 (8.0%)	町民の皆さんからの税金
	繰 入 金	5億 399万円 (7.2%)	5億2,328万円 (8.5%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	諸 収 入	8,396万円 (1.2%)	1億7,010万円 (2.8%)	町税等の延滞金や町預金利息等
	分担金及び負担金	4,026万円 (0.6%)	4,670万円 (0.8%)	保育所や養護老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	7,696万円 (1.1%)	7,363万円 (1.2%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	29億3,000万円 (41.9%)	28億8,350万円 (47.1%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	18億6,330万円 (26.7%)	7億4,630万円 (12.2%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	5億1,931万円 (7.4%)	6億7,336万円 (11.0%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	3億1,106万円 (4.5%)	3億3,573万円 (5.5%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	7,200万円 (1.0%)	7,300万円 (1.2%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1億1,890万円 (1.7%)	1億 910万円 (1.7%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		69億9,217万円 (100.0%)	61億2,366万円 (100.0%)	前年比 8億6,851万円増



### ●歳入 (令和元年度予算と前年度予算との比較)

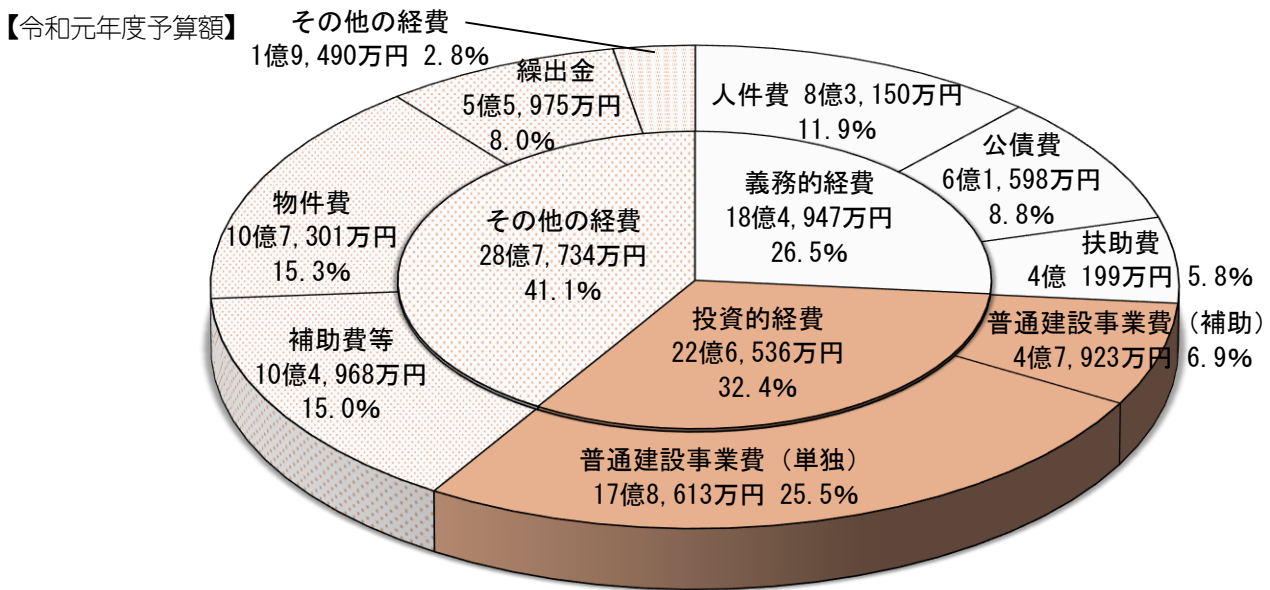
R1	依存財源 58.1億円 83.1%			自主財源 11.8億円 16.9%
	地方交付税 29.3億円 41.9%	町債 18.6億円 26.6%	その他依存財源 10.2億円 14.6%	
H30	依存財源			自主財源
	地方交付税 28.8億円 47.1%	町債 7.5億円 12.2%	その他依存財源 11.9億円 19.4%	自主財源 13.0億円 21.3%
	依存財源 48.2億円 78.7%			

# ■一般会計 歳出 (出ていくお金)

## ●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		令和元年度予算額 (構成比率)	平成 30 年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	8 億 3,150 万円 ( 11.9%)	8 億 63 万円 ( 13.1%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	6 億 1,598 万円 ( 8.8%)	6 億 336 万円 ( 9.9%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	4 億 199 万円 ( 5.8%)	3 億 9,559 万円 ( 6.4%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補 助)	4 億 7,923 万円 ( 6.9%)	7 億 481 万円 ( 11.5%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	17 億 8,613 万円 ( 25.5%)	8 億 5,537 万円 ( 14.0%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災 害 復 旧 事 業	－ 万円 ( － %)	－ 万円 ( － %)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	10 億 4,968 万円 ( 15.0%)	9 億 4,637 万円 ( 15.4%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	10 億 7,301 万円 ( 15.3%)	10 億 5,722 万円 ( 17.3%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	5 億 5,975 万円 ( 8.0%)	5 億 5,865 万円 ( 9.1%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	1 億 9,490 万円 ( 2.8%)	2 億 166 万円 ( 3.3%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		69 億 9,217 万円 (100.0%)	61 億 2,366 万円 (100.0%)	前年比 8 億 6,851 万円増



## ●性質別歳出内訳 (令和元年度予算と前年度予算との比較)

R1	人件費 8.3 億円 11.9%	公債費 6.2 億円 8.8%	扶助費 4.0 億円 5.8%	投資的経費 22.7 億円 32.4%	補助費等 10.5 億円 15.0%	物件費 10.7 億円 15.3%	その他の経費 7.5 億円 10.8%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	
H30	人件費 8.0 億円 13.1%	公債費 6.0 億円 9.9%	扶助費 4.0 億円 6.4%	投資的経費 15.6 億円 25.5%	補助費等 9.5 億円 15.4%	物件費 10.5 億円 17.3%	その他の経費 7.6 億円 12.4%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	

## ●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

項目	令和元年度予算額 (構成比率)	平成30年度予算額 (構成比率)	摘要
総務費	22億7,009万円 (32.5%)	8億4,630万円 (13.8%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
民生費	10億6,897万円 (15.3%)	10億5,826万円 (17.3%)	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛生費	8億6,204万円 (12.3%)	8億2,093万円 (13.4%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農林水産業費	6億6,775万円 (9.6%)	6億1,210万円 (10.0%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
公債費	6億1,604万円 (8.8%)	6億341万円 (9.8%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土木費	5億283万円 (7.2%)	7億2,674万円 (11.9%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教育費	4億6,913万円 (6.7%)	6億7,322万円 (11.0%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
消防費	3億3,482万円 (4.8%)	3億3,715万円 (5.5%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
商工費	1億円 (1.4%)	3億4,456万円 (5.6%)	商工業振興や観光振興などにかかる経費
その他の経費	1億50万円 (1.4%)	1億0,099万円 (1.7%)	議会費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合計	69億9,217万円 (100.0%)	61億2,366万円 (100.0%)	前年比8億6,851万円増

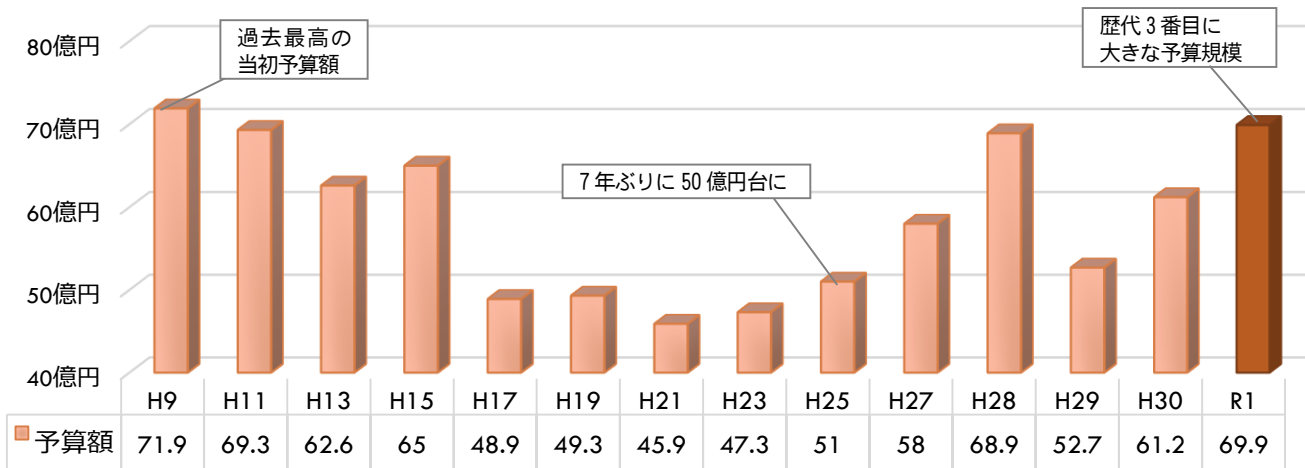
## ●目的別歳出内訳 (令和元年度予算と前年度予算との比較)

	総務費	民生費	衛生費	農水費	公債費	土木費	教育費	その他
R1	22.7億円 32.5%	10.7億円 15.3%	8.6億円 12.3%	6.7億円 9.6%	6.2億円 8.8%	5.0億円 7.2%	4.7億円 6.7%	5.3億円 7.6%
H30	8.5億円 13.8%	10.6億円 17.3%	8.2億円 13.4%	6.1億円 10.0%	6.0億円 9.8%	7.3億円 11.9%	6.7億円 11.0%	7.8億円 12.8%

## ■一般会計当初予算額の推移

平成9年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71.9億円を最高に右肩下がりに転じましたが、平成25年度以降は50億円を超える水準で推移しています。

今年度の当初予算は、大型事業である庁舎建設事業費が盛り込まれたことなどにより、歴代3番目に大きい予算規模となっています。



予算総額の 109 億 1,961 万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

## 1 いきいきと輝き続ける“ひと” 48億8,188万円

### 1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億2,571万円

(1) 子育て環境の充実  
2億2,571万円

児童館の運営	675万円
児童福祉の充実	9,327万円
保育所の充実	1億2,569万円

### ■ 主な事業と予算

- 保育料軽減を拡充し、子育て世代の負担軽減を図るほか、就学前教育の充実により子どもの成長を支え、小学校への円滑な就学を図ります。
- 地域の特性を生かした「食育」の充実を図るため、食育推進計画の見直しを行います。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成等の事業を推進し、町内での子育てを支援します。
- 保育所、児童館等の運営について、さらなる充実を図ります。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【新規】児童福祉施設エアコン設置工事 300万円〈教育委員会〉

保育園と児童館の乳児室や保育室にエアコンを設置することで、園児等の健康面に配慮した保育環境の充実を図ります。

#### 【事業内容】

- 町内4保育園、冬部児童館の保育室等にエアコンを設置する。

#### 【新規】保育施設再整備調査業務 100万円〈教育委員会〉

老朽化の著しい保育施設を再整備するための建設予定地の選定と、設計に向けた調査を実施します。

#### 【事業内容】

- 保育施設建設予定地を選定するための調査を実施。

#### 【拡充】保育料軽減 2,052万円〈教育委員会〉

国では幼児教育の無償化を制度化し、令和元年10月から、3歳以上児及び2歳以下の非課税世帯の幼児の保育料等が無償化されます。

町では、国の制度分に加え、世帯第2子以降の保育料無償化を引き続き実施し、子育て世代の負担軽減を図ります。

(10月から保育料がかかるのは、住民税課税世帯の第1子で、0歳児から2歳児のみとなります。)



夏に水遊びをする園児たち

## 2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 8億4,140万円

(1) 教育の充実  
7億2,015万円

小中学校教育の充実 3億7,140万円  
高等学校教育の充実 3億4,875万円

(2) 生涯学習の充実と文化の継承  
4,087万円

生涯学習の充実と文化の継承 4,087万円

(3) 生涯スポーツの推進  
8,038万円

生涯スポーツ・レクリエーションの推進 8,038万円

### ■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を生かした教育を推進します。また、安全安心な教育環境の構築のため、学校施設等の整備に努めます。
- スポーツ施設の改修により、町民の利用促進だけでなく、町外からの誘客を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】 江刈中学校校舎改修事業  
4,000万円〈教育委員会〉

昭和51年に建築された江刈中学校校舎の長寿命化と学習環境の快適性を向上させるため、改修工事を実施します。

#### 【事業内容】

- 断熱工事（窓サッシ交換、天井、床、壁断熱化）
- 高効率照明設置工事（LED蛍光灯交換）
- 空調設備設置工事（エアコン設置）外

【継続】 公営学習塾運営事業  
2,576万円〈教育委員会〉

葛巻高等学校の生徒が抱く夢と未来の実現を後押しするため、葛巻高等学校の生徒限定の個別指導による通年学習塾「葛巻町学習塾」を運営します。

今年度は、映像教材（希望者・一部有料）を導入し、葛巻高等学校と連携しながら、さらなる学力向上を目指します。

#### 【事業内容】

- 公営学習塾運営の委託
- 帰宅送迎バスの運行

【拡充】 山村留学事業  
2,767万円〈教育委員会〉

町が持つ多面的な資源を活用した教育環境を提供することにより、自ら学ぶ意欲と社会貢献の心を育むことを目的に、全国から葛巻高等学校に入学する生徒を山村留学生として受け入れます。

山村留学生は、新たに完成した寄宿舍で、自分たちの生活を自分たちで考えながら共同生活を送ります。

#### 【事業内容】

- 山村留学生寄宿舍の運営
- 新規山村留学生の募集・受入



山村留学生寄宿舍



**【新規】部活動指導員**

67万円〈教育委員会〉

教職員の働き方改革の一環として、中学校に部活動指導員を配置し、教職員による部活動指導の負担を軽減することで、より一層、教育環境の充実を図ります。また、専門的な指導による部活動の充実にもつなげます。

**【事業内容】**

- 部活動指導員 2名（葛巻中、小屋瀬中）

**【新規】社会体育施設長寿命化改修工事**

530万円〈教育委員会〉

開館から40年を経過した社会体育館の老朽箇所等の改修工事を行い、利便性の向上と長寿命化を図ります。

**【事業内容】**

- 柔剣道場及びトレーニング室屋根改修工事
- 誘導灯改修工事
- 消火栓用非常用電源改修工事

**【新規】総合運動公園スポーツコート舗装工事**

170万円〈教育委員会〉

平成29年度に人工芝化した総合運動公園スポーツコート（旧ゲートボール場）への通路を舗装化することで、高齢者や障がいを持つ方でも気軽にスポーツを行える環境を整備します。

**【事業内容】**

- 総合運動公園の歩道からスポーツコートまでの砂利通路の舗装工事

**【新規】体育施設用備品整備事業**

750万円〈教育委員会〉

社会体育館及び総合運動公園のスポーツ用品等を整備し、利便性の向上による市民のスポーツ施設の利用率の増加と、スポーツ大会や合宿のさらなる誘致を図ります。

**【事業内容】**

- 社会体育館トレーニング器機、デジタルタイマー等
- 運動公園芝刈機 など

**【継続】給食センター備品更新事業**

800万円〈教育委員会〉

市内の小・中学校及び高等学校に安全・安心な学校給食を提供するため、老朽化が進んでいる学校給食センターの機器を更新します。

**【事業内容】**

- 食器洗浄機

**【継続】学力向上支援事業等**

1,180万円〈教育委員会〉

小中学校における児童生徒の学力向上やきめ細やかな学習支援、児童生徒指導を目的として、継続して各支援員等を配置します。

**【事業内容】**

- 学力向上支援員 3名
- 特別支援教育支援員 4名
- 心の教室相談員 延べ3名
- 外国語教育支援員 1名
- 学校教育アドバイザー 1名

**● その他の主な事業**

● 高等学校教育振興事業	1,803万円（教育委員会）
● 小学校・中学校管理経費	5,027万円（ 〃 ）
● 生涯学習推進事業	248万円（ 〃 ）
● 文化財保護事業	224万円（ 〃 ）
● 放課後子ども教室推進事業	100万円（ 〃 ）

### 3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 37億3,557万円

(1) 保健・医療の充実 29億3,758万円	健康づくりの推進	1億1,199万円
	医療の確保	16億772万円
	医療保険制度の充実	12億1,787万円
(2) 福祉の充実 7億9,799万円	地域福祉の充実	5,727万円
	高齢者福祉の充実	4億4,249万円
	障害者福祉の充実	2億9,823万円

#### ■ 主な事業と予算

- 各種予防ワクチン接種を費用の助成を推進します。
- 自殺対策行動計画に基づき、関係機関と連携し、各種事業を推進します。
- 医療機関等と連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業等を推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【継続】 一般高齢者介護予防事業 201万円〈健康福祉課〉

生涯を通じて健康で自立した生活を送られるよう、地域での健康教室や介護予防事業を実施し、高齢者自らの健康管理及び介護予防を促します。

##### 【事業内容】

- 介護予防教室、歯つらつ栄養教室の開催
- 住民主体の通いの場づくりへの支援
- シルバーリハビリ体操の普及、指導者の育成



歯つらつ栄養教室

##### 【新規】 生活支援体制整備事業 133万円〈健康福祉課〉

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けるため、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めます。

##### 【事業内容】

- 第1層(町内全域)生活支援コーディネーターの配置 1名

##### 【拡充】 高齢者等外出支援事業費 240万円〈健康福祉課〉

在宅生活を送っている75歳以上の高齢者及び重度の障がい者等に対して、町内でタクシーを利用したときに、料金の一部を助成します。

##### 【主な変更点】

- ① 運転免許証の自主返納者が、新たに対象となります(年齢要件はありません。)
- ② 身体障害者手帳2級の所持者はすべて対象となります。
- ③ 身体障害者手帳3級から6級の所持者のうち、「視覚、下肢、体幹」のいずれかに障がいがある方は、新たに対象となります。

**【継続】 看護職員等養成就学資金貸付金**  
1,279万円〈健康福祉課〉

将来、町内において医療・保健・福祉・介護サービス等に従事する看護師、技術職員等の専門職確保を図るため、修学資金の貸し付けを行います。

- 貸付額：学費 月額10万円以内  
(薬剤師：月額20万円以内)  
入学金 35万円以内
- 貸付利子：無利子
- 貸付期間：修学年限を超えない期間
- 償還免除：町内の指定施設等で一定期間、勤務したした場合、一部又は全部を免除

**【継続】 病院事業管理経費**  
3億8,608万円〈住民会計課〉

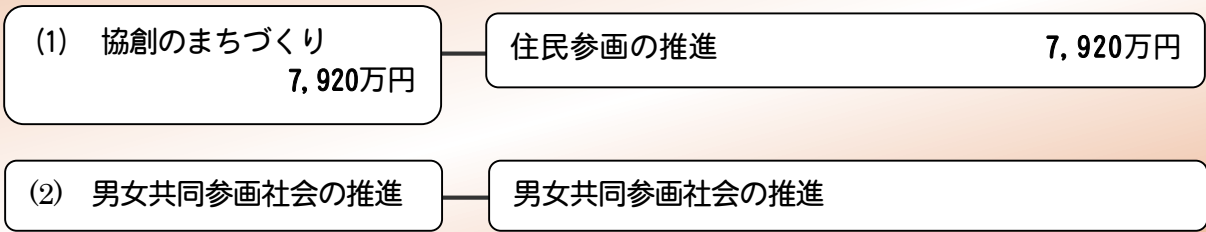
葛巻病院が住民の命と健康を守る地域医療の拠点とし、住民から信頼される安心安全な医療を提供できるよう、経営安定のため一般会計から繰り出される経費です。

- 【主なもの】**
- 不採算地区病院経営 9,152万円
  - へき地医療確保 5,691万円
  - 救急医療確保 4,308万円
  - 企業債償還元金分 3,682万円
  - 高度医療機器 2,301万円
  - 経営安定化対策 7,500万円(基準外)

● **その他の主な事業**

- 生活習慣病予防事業 ..... 2,560万円(健康福祉課)
- くずまキッズ予防接種費扶助事業 ..... 300万円( // )
- むくもり助成事業 ..... 330万円( // )
- 地域安心生活支援員 ..... 360万円( // )

**4 協創のまちづくりの推進 7,920万円**



■ **主な事業と予算**

- 様々な行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民のみなさんから参画していただき、町民と行政とが協働してまちづくりに取り組むことを推進します。

● **重点的に実施する事業**

**【新規】 集会施設整備工事**  
3,560万円〈総務企画課〉

地域づくりの活動拠点となっている自治公民館を快適な環境に整えることで、より住みよいコミュニティ環境の構築と一層のコミュニティ活動の推進を図るため、老朽化した自治公民館の建て替えを行います。

**【事業内容】**

- 町立集会所の整備(山岸自治会) 1棟



平成30年度に整備された泉田自治会館

## II 誰もが住みたくなる“まち” 20億8,875万円

### 1 快適に暮らせる生活環境の創出 16億9,716万円

(1) 生活環境の整備  
8億7,587万円

住環境の整備	2,773万円
水道施設の整備	3億9,050万円
生活排水処理施設の整備	3億2,059万円
環境衛生の充実	1億3,705万円

(2) 交通・通信ネットワーク  
の整備 8億2,129万円

道路交通網の整備	7億4,572万円
生活交通対策の推進	1,520万円
地域情報化の推進	6,037万円

### ■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【継続】 町整備型浄化槽整備事業  
4,200万円〈建設水道課〉

生活排水による水質汚濁を防止するため、し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を整備し、快適で衛生的な生活環境の推進に努めます。

【事業内容】

- 町整備型浄化槽整備 30基

【継続】 水洗化普及支援事業  
1,000万円〈建設水道課〉

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、水洗化に係る工事に要する経費の一部を助成します。

【補助金額】

- 一般世帯  
補助対象額の1/2、37万5千円を限度
- 高齢者世帯等  
補助対象額の2/3、50万円を限度

【新規】 発泡スチロール減容機更新事業  
240万円〈農林環境エネルギー課〉

リサイクルを推進するため、発泡スチロール減容機の更新を行います。

【事業内容】

- 発泡スチロール減容機の更新

【新規】 清掃センター長寿命化修繕工事  
1,500万円〈農林環境エネルギー課〉

施設を長期的に使用していくため、清掃センター設備の長寿命化改修を行います。

【事業内容】

- 高架水槽の更新
- 噴射水配管の改修
- 焼却炉天井部耐火物の改修

**【継続】 町道茶屋場田子線道路改良事業**  
4,250万円〈建設水道課〉

バイパス機能を備えた町中心部の環状道路として馬淵川堤防を拡幅整備し、町中心部の混雑解消と防災対策の強化を図ります。

- 【事業内容】  
○道路拡幅舗装工事

**【継続】 町道葛巻浦子内線改良事業**  
1億7,200万円〈建設水道課〉

町中心部と浦子内地区を結ぶ唯一の路線であり、大橋の老朽化も進んでいるため橋の架け替え及び道路拡幅を行います。

- 【事業内容】  
○大橋下部工事  
○用地取得



現在の大橋

**【継続】 道路長寿命化修繕工事**  
3,000万円〈建設水道課〉

町道の路面性状調査結果をもとに、ひび割れ等の傷みの激しい路線を計画的に修繕することにより道路野長寿命化を図ります。

- 【事業内容】  
○舗装路面の打換え工事

●その他の主な事業

● 廃棄物処理業務	5,844万円	(農林環境エネルギー課)
● し尿処理事業費	3,034万円	( // )
● ごみ焼却経費	3,348万円	( // )
● 地域情報基盤の管理運営	5,958万円	(総務企画課)
● バス路線運行拡大支援対策事業	1,390万円	( // )
● 姉妹町村等交流事業	300万円	( // )

**【継続】 町道愛羅瀬線改良事業**  
7,200万円〈建設水道課〉

町営住宅及びグループホームの建設に伴い交通量が増えたことから、道路改良工事を行い利便性や安全性の向上を図ります。

- 【事業内容】  
○道路改良舗装工事  
○橋りょう下部工事

**【新規】 ライフビジョン運用保守業務**  
79万円〈総務企画課〉

昨年10月に町がトヨタグループ7社と締結した「まちづくりに関する包括連携協定」の取り組みで、スマートフォン向けの情報配信アプリ「ライフビジョン」を利用した情報発信を行います。

アプリを活用し、町民への情報発信の拡充を図るとともに、町外にお住まいの方にもイベント・観光などの情報を配信し、町出身者や葛巻ファンを巻き込んだコミュニティの構築を図ります。

- 【主な配信内容】  
○緊急防災情報 ○町からのお知らせ、  
○慶弔情報 ○イベント観光情報  
○町の取り組み(山村留学、移住定住情報など)

【事業内容】  
情報配信アプリ「ライフビジョン」の運用・保守に要する経費

**【新規】 地域公共交通体系再編調査検討業務**  
120万円〈総務企画課〉

人口減少や少子高齢化に従う公共交通利用者の減少や、高齢者などが利用する上での公共交通が抱える課題に対応するため、住民の快適な暮らしを支える持続可能な公共交通体系を整備するための調査・検討を行います。

- 【事業内容】  
○町の公共交通の実態と住民ニーズの把握  
○公共交通体系再編に向けた検討

## 2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり 4,871万円

(1) 自然環境の保全と土地の利活用 4,356万円 ———— 土地の利活用等 4,356万円

(2) 再生可能エネルギーの推進 515万円 ———— 新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発 515万円

### ■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組めます。
- 新エネルギー等の導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

### ● 主な事業

- 中山間地域総合整備事業 …………… 1,144万円（建設水道課）
- 盗人沢河川維持修繕工事 …………… 1,000万円（ 〃 ）
- エコ・エネ総合対策事業 …………… 200万円（農林環境エネルギー課）

## 3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 3億4,345万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 3億3,482万円 ———— 防災対策、消防・救急体制の充実 3億3,482万円

(2) 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 863万円 ———— 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 863万円

### ■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進に向け、町民の意識啓発活動に取り組めます。

## ●重点的に実施する事業

### 【新規】消防備品整備事業

450万円〈総務企画課〉

消防団活動の安全性・機能性の向上を図るため、消防用備品の整備を進めます。

#### 【事業内容】

- 各分団用消防ホースの購入 110本
- 吸管用ワンタッチストレナー 20基  
(吸管の先のカゴ部分を消火栓用接続金具に簡単に付け替えられるもの)
- チェンソー 2台



平成30年度に整備したホース格納箱

### 【新規】町地域防災計画等改訂業務

190万円〈総務企画課〉

町地域防災計画は、災害対策基本法の規定に基づき、町の防災会議が作成する計画です。町や関係機関、住民等がその機能を発揮し、相互に有機的な関連を持って、災害予防対策、災害応急対策、災害復旧・復興対策を実施することにより、土地の保全と住民の生命、身体及び財産を保護することを目的としています。今年度は、国・県の最新の防災方針、町的情勢などを勘案して、現行計画の修正を行います。

### 【継続】災害対策用備蓄食料整備事業

73万円〈総務企画課〉

町では災害発生時に避難者等へ供給できるように最低限の食料や資機材を備蓄倉庫に保管しています。

食料品については順次新しいものを購入して備蓄するとともに、寝袋等については数量を増やして備蓄します。

#### 【事業内容】

- 災害備蓄用食料品 (各種)
- 寝袋、アルミロールマット 各100個

### 【継続】町青少年育成ネットワーク補助事業

181万円〈教育委員会〉

関係機関や各地区育成会と連携・協力し、各種事業等を通じて地域ぐるみでの青少年の健全育成やジュニアリーダー等の育成を図ります。

#### 【事業内容】

- 青少年健全育成ミニサッカー大会の開催
- 姉妹町村沖縄県北中城村中学生訪問交流事業
- 子どもの未来を考える町民のつどい開催



姉妹町村沖縄県北中城村中学生訪問交流

## ●その他の主な事業

● 盛岡地区広域消防組合負担金	2億7,964万円 (総務企画課)
● 災害対策経費	808万円 ( // )
● 交通安全対策経費	184万円 ( // )
● 防犯活動経費	498万円 ( // )

### III 地域資源を生かす“しごと” 10億6,513万円

#### 1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 8億4,687万円

(1) 農業の振興 7億5,386万円	畜産振興	5億8,961万円
	農業振興	1億 260万円
	農業施設等の整備	6,165万円
(2) 林業の振興 8,661万円	林業振興	8,661万円
(3) 農林産物加工の振興 640万円	加工施設の充実	640万円

#### ■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【新規】 地域林政アドバイザー 264 万円〈農林環境エネルギー課〉

新たな森林管理システム制度開始に伴う業務を行うため、林業専門家を雇用します。

##### 【業務内容】

- 森林所有者に対する意向調査の実施
- 森林情報の収集
- 境界確認業務の実施

##### 【継続】 公有林整備事業 2,562 万円〈農林環境エネルギー課〉

町有林の適切な管理を図るため、下刈、間伐等を計画的に実施します。

##### 【事業内容】

- 下刈
- 間伐
- 町有林巡視業務

##### 【拡充】 町産材利用促進事業 450 万円〈農林環境エネルギー課〉

町産材の利用拡大を図るため、町民が町産材を使用して町内に住宅等を新築または増改築する際に要する経費に対し助成を行います。

##### 【事業内容】

- 町産材使用量 1 m<sup>3</sup>に対し 3 万円を助成

##### 【拡充内容】

上限：25 m<sup>3</sup> 75 万円→120 m<sup>3</sup> 360 万円



整備された公有林



【新規】酪農ヘルパー住宅整備事業  
3,650万円〈農林環境エネルギー課〉

町の基幹産業である酪農を支えるヘルパーの安定確保に向けて、酪農ヘルパー専用住宅を整備します。

【事業内容】

- 木造平家建て長屋5世帯



酪農を支えるヘルパー

【新規】道の駅レストラン基本設計業務  
100万円〈農林環境エネルギー課〉

現在、「道の駅くずまき高原」のレストランは食事スペースの無い簡易的な施設で営業をしていますが、食堂の建設に向けて施設の内容を検討する基本設計を行います。

【継続】いわて地域農業マスタープラン実践  
支援事業費  
1,800万円〈農林環境エネルギー課〉

農業担い手の減少等の集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の実現に向けて、園芸・畜産の中心経営体の規模拡大に必要な機械・施設の整備等を支援します。

【補助率】

事業費の2分の1

※補助対象上限事業費は2,000万円

（牛舎は5,000万円）

【新規】畜ふんバイオガスプラント設計指導  
調査業務  
250万円〈農林環境エネルギー課〉

「新葛巻型酪農構想」の実現に向けて牛の増頭を進めるに当たり、堆肥を還元する圃場の不足による家畜ふん尿処理の問題が見込まれます。その解決策となる畜ふんバイオガスプラントの整備に向けて、施設整備の設計に係る資料作成業務等を行います。

【新規】ミルクハウス乳製品製造機器更新事業  
720万円〈農林環境エネルギー課〉

ミルクハウスの生乳管理に使用されるアイスバンカー（冷水を供給する装置）の老朽化が進み、早急に更新の必要があるため、アイスバンカーの整備及び設置工事を行います。

【事業内容】

- アイスバンカー本体整備
- アイスバンカー設置工事  
（基礎工事、水道・電気配線工事等）

【新規】くずまき交流館プラトー客室改修工事  
1,045万円〈農林環境エネルギー課〉

これまで葛巻高校山村留学生の寄宿舍として活用されていた部屋を含むプラトーの客室について、老朽化が目立つことから改修工事を行い、サービスの向上や更なる誘客の推進を図ります。

【事業内容】

- 客室（和室3部屋、洋室2部屋）改修工事



プラトー客室

## ● その他の主な事業

- 農地中間管理農地集積事業 ..... 600万円（農林環境エネルギー課）

## 2 交流・連携の強化による地域産業の育成 2億 366万円

(1) 商工業の振興 6,488万円	商工業の振興	6,488万円
(2) 観光の振興 3,765万円	観光の振興	3,765万円
(3) 交流連携の推進 1億 113万円	交流連携の推進	1億 113万円

### ■ 主な事業と予算

- 商工業振興では、中心市街地の活性化を図るとともに、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 交流連携の推進では、移住・定住者希望者へ向けた体験ツアーの実施や住宅取得支援を行うことで、移住・定住者の確保に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【新規】 プレミアム付商品券事業 2,075万円〈総務企画課〉

消費税率引き上げが消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするために、プレミアム付商品券を販売します。

#### 【事業内容】

- プレミアム付商品券の販売

#### 【継続】 商店等設備導入支援事業 500万円〈総務企画課〉

町民の日常生活に必要な地域の商店や飲食店等の持続的な経営の支援を行い、住民の安心・安全及び町内経済の活性化を図ることを目的に、商店等の設備更新や店舗リフォームに要する経費の一部を助成します。

#### 【事業内容】

10万円以上の設備導入または30万円以上の店舗リフォームを行う場合に、上限額50万円とし対象経費の2/3を助成。

#### 【継続】 くずまき型DMO事業 2,150万円〈総務企画課〉

くずまき型DMOの推進のため、昨年度までの事業を継続・発展させ、「特産品」や「観光プロモーション」の具体的な事業化を推進するとともに、公民連携でまちなかエリアビジョンの実現に向けた取り組みを推進します。

#### 【事業内容】

- まちなかエリアビジョン事業
- 観光・特産品検討事業
- 若者・高校生検討事業
- まちづくり会社設立等



観光PR検討部会での取り組み



「若者が集える場所」を考えるワークショップ

**【継続】子育て世代移住者住宅取得支援事業**  
400万円〈総務企画課〉

町外に住む子育て世帯が町内に移住するために住宅を取得する場合に、経費の一部を最大400万円助成します。

**【助成内容】**

基本額：対象経費の1/2、限度額200万円  
 (中古住宅購入の場合は限度額50万円)  
 若年夫婦加算：50万円(合計年齢60歳未満)  
 子の加算：1人につき50万円(最大150万円)

**【継続】定住対策住宅取得支援事業**  
600万円〈総務企画課〉

町民が、町に定住するために住宅を取得する場合に、経費の一部を最大100万円助成します。

**【助成内容】**

基本額：対象経費の1/2、限度額100万円  
 (中古住宅購入の場合は限度額50万円)

**【継続】若者定住推進家賃助成**  
130万円〈総務企画課〉

町内の民間アパートなどの賃貸住宅に入居する若者を対象に、家賃の一部を助成し、若者が暮らしやすい町としての魅力を高め、若者世代の定住を促進します。

**【助成内容】**

月額家賃から3万円を差し引いた額の2分の1をくずまき商品券で助成(月額上限1万円)

**【継続】くずまき暮らし体験ツアー業務**  
160万円〈総務企画課〉

県外在住の若者・子育て世代等の移住希望者に対し、実際に町を訪れる機会を提供し、地域住民や先輩移住者と交流しながら町の魅力や暮らしの様子、仕事に関する情報などを伝え、移住を促進します。

**【事業内容】**

○移住体験ツアー(年2回)  
 定住促進住宅見学、暮らし・仕事のセミナー、中心商店街見学、地域住民、先輩移住者との交流 他

**【継続】地域おこし協力隊員関連経費**  
3,200万円〈総務企画課〉

都市地域から過疎地域へ住所を移し、地域活性化に取り組む「地域おこし協力隊」を任用します。

観光、教育、農業、特産品振興、人口減少対策などの各種プロジェクトに携わります。

**【事業内容】※新規採用予定含む**

- 地域おこし協力隊報酬(7人) 1,848万円
- 地域おこし協力隊活動経費 952万円
- 地域おこし協力隊起業継業支援 200万円
- 地域おこし協力隊募集経費 200万円



地域おこし協力隊

● **その他の主な事業**

● 快適な住まいづくり応援事業	500万円(総務企画課)
● 成功店モデル創出・波及事業	70万円( // )
● 中小企業振興資金利子補給	109万円( // )
● 定住促進奨励金	200万円( // )

### 3 地域産業を生かした起業支援と雇用の確保 1,460万円

(1) 起業・継業支援

253万円

起業・継業の支援

253万円

(2) 雇用機会の確保

1,207万円

雇用機会の確保

1,207万円

#### ■ 主な事業と予算

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者育成等、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町民の就労機会の確保と拡大、就労者の地元への定着を促進するため、事業主等に対する支援を行います。
- 町内の商工業者の継業（事業承継）を支援し、町内商工業の振興と地域経済の活性化を図ります。

#### ● 重点的に実施する事業

【継続】 くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 200万円〈総務企画課〉

町内の商工業における経営品質の向上や生産技術の継承、起業等の取り組みを支援することにより、持続可能な産業構造及び経営体の構築を図り、産業振興による地域経済の活性化及び雇用の創出、町民所得の向上を図ります。

【事業内容】

- ものづくり・人材育成事業
- 経営品質向上事業
- 後継者育成事業
- 起業家支援事業
- 電子化推進事業
- 新分野開拓・連携支援事業

【継続】 継業支援事業

50万円〈総務企画課〉

町内の商工業者が継業（事業承継）に取り組む場合の経費の一部を助成し、町内商工業の事業の継続及び発展による地域経済の活性化を図ります。

【事業内容】

- 経営診断等を専門家へ依頼する際の経費
- 後継者の募集、交渉等に要する経費
- 事業所登記に要する経費

【継続】 雇用促進事業補助金

1,200万円〈総務企画課〉

町内事業者が新たに町民を雇用した際に補助金を交付し、町内における雇用機会の拡大及び所得の増加を推進します。

【事業内容】

- 39歳以下（3年）  
給料月額の1/3 上限なし
  - 60歳以上（2年）  
給料月額の1/4 上限1.5万円/月
- ※（ ）内は補助対象期間



## IV その他の行政業務

28億8,328万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済等で、総合計画の体系に分類できない業務  
28億8,328万円

公債費	6億1,604万円
総務、企画、統計	20億5,986万円
税務、戸籍	7,371万円
議会、選挙、監査	1億603万円
その他	2,764万円

### ●重点的に実施する事業

#### 【継続】新庁舎建設事業

15億2,200万円〈政策秘書課〉

老朽化が進む役場庁舎の建替えと、各種施設の集約化と複合化を図るため、施設整備に係る建設工事を行います。

##### 【新庁舎の概要】

- 総事業費（見込） 約40億円
- 構成 庁舎棟、分署棟、車庫棟
- 構造・規模 鉄筋鉄骨コンクリート造、庁舎棟：一部5階建、分署棟：2階建、車庫棟：2階建、延床面積：約9,000㎡
- 新庁舎の特徴

新たな「まちの拠点」として、既に整備済みの医療機能（葛巻病院）に隣接した場所に「交流機能」「行政機能」「防災機能」「商工・金融機能」を集約・複合化することで、利便性とまちづくりの拠点としての機能を高めようとするものです。

また、町民が気軽に集い、親しめる空間を確保するとともに、町産材やクリーンエネルギーの導入など「葛巻らしさ」にこだわり、魅力的で地域特性を活かした施設を目指します。

#### 【新規】町有施設解体撤去工事

180万円〈総務企画課〉

老朽化が進み、入居が困難となっている町有住宅を解体撤去することで倒壊等の危険を未然に防ぐとともに、維持コストの低減を図ります。

##### 【対象となる町有住宅】

- 町有境の沢住宅6・7号棟
- 町有馬淵住宅

#### 【新規】電子入札等基盤整備事業

265万円〈総務企画課〉

盛岡広域8市町（盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）において入札事務に係る電子システムを共通化します。

共通の電子システムを導入することにより盛岡広域8市町で提出書類の共通化を図るほか、提出書類を可能な限り電子化することで事業者の利便の向上及び事務処理の効率化を図ります。

#### 【継続】いきいき岩手結婚サポートセンター

入会登録料助成 10万円〈政策秘書課〉

結婚を望む若者に出会いの機会を提供する「いきいき岩手結婚サポートセンター」に入会しようとする町内在住の未婚者に対し、登録料の全額を助成します。

##### 【事業内容】

- 入会登録料：1万円
- 会員有効期間：2年間
- 会員登録制により、1対1の出会いの機会を提供し、理想のパートナー探しをサポート

#### 【継続】くずまき出会いサポート協議会補助

90万円〈政策秘書課〉

「くずまき出会いサポート協議会」の活動経費を助成し、20代・30代の独身男女の出会いと結婚を支援していきます。

##### 【事業内容】

- 独身男女の出会いづくりのサポート、情報提供
- 各種交流事業の開催

# 平成30年度から令和元年度に予算を繰り越して実施する事業

## ●主な繰越事業

小・中学校冷房設備整備事業  
7,740万円〈教育委員会〉

猛暑に起因する健康被害や熱中症対策として、各小・中学校に冷房設備（エアコン）を導入・整備することで、児童生徒の健康を守りより良い教育環境をつくります。

### 【事業内容】

- 設置箇所：普通教室、特別支援教室、保健室、校長室及び職員室等 49 室
- 設置台数：エアコン 55 台

新庁舎建設事業  
1億 206万円〈政策秘書課〉

老朽化が進む役場庁舎の建替えと、各種施設の集約化と複合化を図るため、施設整備に係る実施設計を行います。

## ●繰越事業一覧

事業名	事業費	完了見込
公用車用車庫解体撤去工事	2,000万円	R1. 5月
茶屋場定住促進住宅整備工事	4,884万円	R1. 9月
役場庁舎実施設計業務	1億 206万円	R1. 6月
健康管理システム導入業務	1,000万円	R1. 10月
草地畜産基盤整備事業	1億6,980万円	R1. 10月
畜産競争力強化整備事業	1億3,515万円	R2. 3月
農道橋点検診断業務	500万円	R1. 9月
農業施設修繕工事	200万円	R1. 9月
特用林産施設体制整備復興事業	113万円	R1. 5月
プレミアム付商品券事業	103万円	R2. 3月
グリーンテージ倉庫整備工事	400万円	R1. 6月
橋りょう長寿命化計画策定業務	800万円	R1. 8月
資材倉庫整備工事	2,000万円	R1. 6月
町道茶屋場田子線道路改良事業	2億 880万円	R1. 7月
町道葛巻浦子内線道路改良事業	2,020万円	R1. 10月
町道愛羅瀬線道路改良事業	1,000万円	R1. 8月
町道役場線道路改良事業	1,600万円	R1. 7月
橋りょう長寿命化修繕工事	900万円	R1. 8月
町営住宅長寿命化修繕工事	1,010万円	R1. 9月
山村留学生寄宿舍整備事業	2億7,729万円	R1. 4月
小学校冷房設備整備事業	4,600万円	R1. 6月
葛巻小学校物置購入事業	100万円	R1. 6月
中学校冷房設備整備事業	3,140万円	R1. 7月
社会体育施設機能向上化改修工事	841万円	R1. 8月
繰越事業費 計	11億6,521万円	

# 平成29年度 まちの 決算 の状況

## ■歳入歳出決算額

### ○一般会計・特別会計の状況

平成29年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額94億6,444万円に対し、歳出総額87億4,393万円で、歳入歳出差引額は7億2,051万円（実質収支等は6億5,043万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額が3億2,842万円（3.4%）の減となった一方、歳出総額は前年度と比較して1億7,877万円（2.1%）の増となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	52億7,361万円	78億7,204万円	72億3,176万円	6億4,028万円
特別会計	14億7,706万円	15億9,240万円	15億1,217万円	8,023万円
国民健康保険事業	12億0,353万円	13億1,138万円	12億4,548万円	6,590万円
農業集落排水事業	2億0,427万円	2億0,805万円	1億9,719万円	1,086万円
後期高齢者医療事業	6,926万円	7,297万円	6,950万円	347万円
合計	67億5,067万円	94億6,444万円	87億4,393万円	7億2,051万円

### ○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		平成29年度決算額 (構成比率)	歳出項目		平成29年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	4億7,807万円 (6.1%)	義務的経費	人件費	7億9,182万円 (11.0%)
	諸収入	3億4,434万円 (4.4%)		公債費	5億8,991万円 (8.2%)
	分担金及び負担金	5,221万円 (0.7%)		扶助費	5億5,815万円 (7.7%)
	繰入金	4,239万円 (0.5%)	投資的経費	普通建設事業費 (補助)	7億1,165万円 (9.8%)
	その他の自主財源	13億1,873万円 (16.7%)		普通建設事業費 (単独)	5億3,824万円 (7.5%)
依存財源	地方交付税	32億5,877万円 (41.4%)	災害復旧事業	5億1,422万円 (7.1%)	
	町債	9億6,861万円 (12.3%)	その他の経費	補助費等	14億2,910万円 (19.7%)
	国庫支出金	6億3,090万円 (8.0%)		物件費	8億2,659万円 (11.4%)
	県支出金	5億7,665万円 (7.3%)		繰出金	4億9,380万円 (6.8%)
	地方譲与税	7,904万円 (1.0%)		その他の経費	7億7,828万円 (10.8%)
	その他の依存財源	1億2,233万円 (1.6%)			
合計	78億7,204万円 (100.0%)	合計	72億3,176万円 (100.0%)		

## ○企業会計

病院事業会計は総収益 10 億 7,383 万円に対し、総費用が 10 億 1,679 万円となり、純利益 5,704 万円を計上しました。

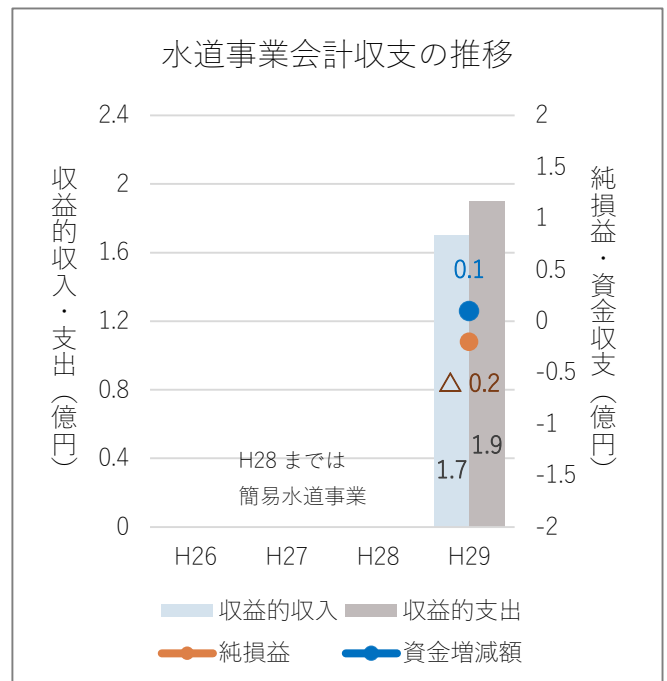
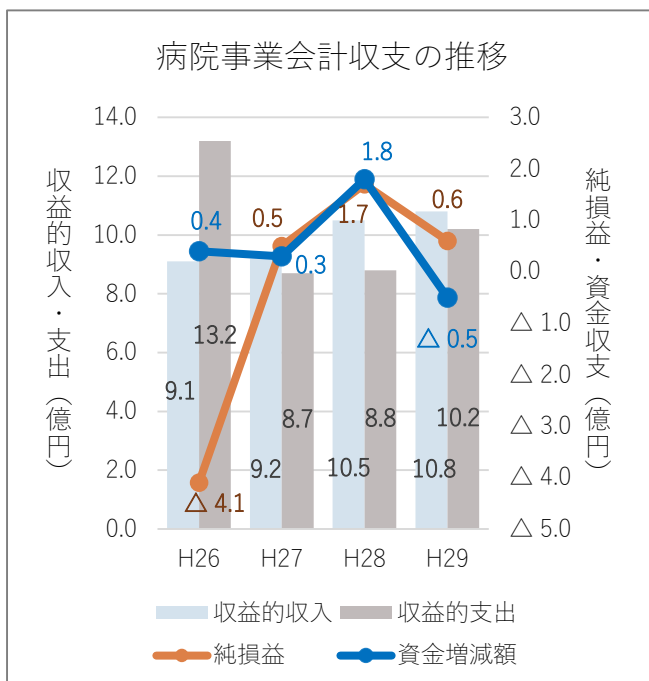
水道事業会計は、簡易水道事業の統合により平成 29 年度会計から企業会計に移行しました。統合後初決算となる平成 29 年度決算では、総収益 1 億 6,427 万円に対し、総費用が 1 億 8,707 万円となり、純損失 2,280 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収益的収支	医業収益	5億8,832万円	営業収益	1億1,364万円
	医業外収益	2億8,987万円	営業外収益	5,063万円
	医業費用	9億1,821万円	営業費用	1億6,921万円
	医業外費用	1,186万円	営業外費用	1,786万円
	特別利益	1億9,564万円	特別利益	—
	特別損失	8,672万円	特別損失	—
	純損益	5,704万円	純損益	△2,280万円
資本的収支	資本的収入	17億120万円	資本的収入	4億3,589万円
	資本的支出	17億1,614万円	資本的支出	4億3,602万円
	差引収支	△1,494万円	差引収支	△13万円
資金収支	資金増減額	△5,045万円	資金増減額	1,238万円

※ 「収益的収支」は、事業年度の経営活動に伴って発生する収益と費用を経理したもので、「資本的収支」は、建物や施設の建設などの費用を経理したものです。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。



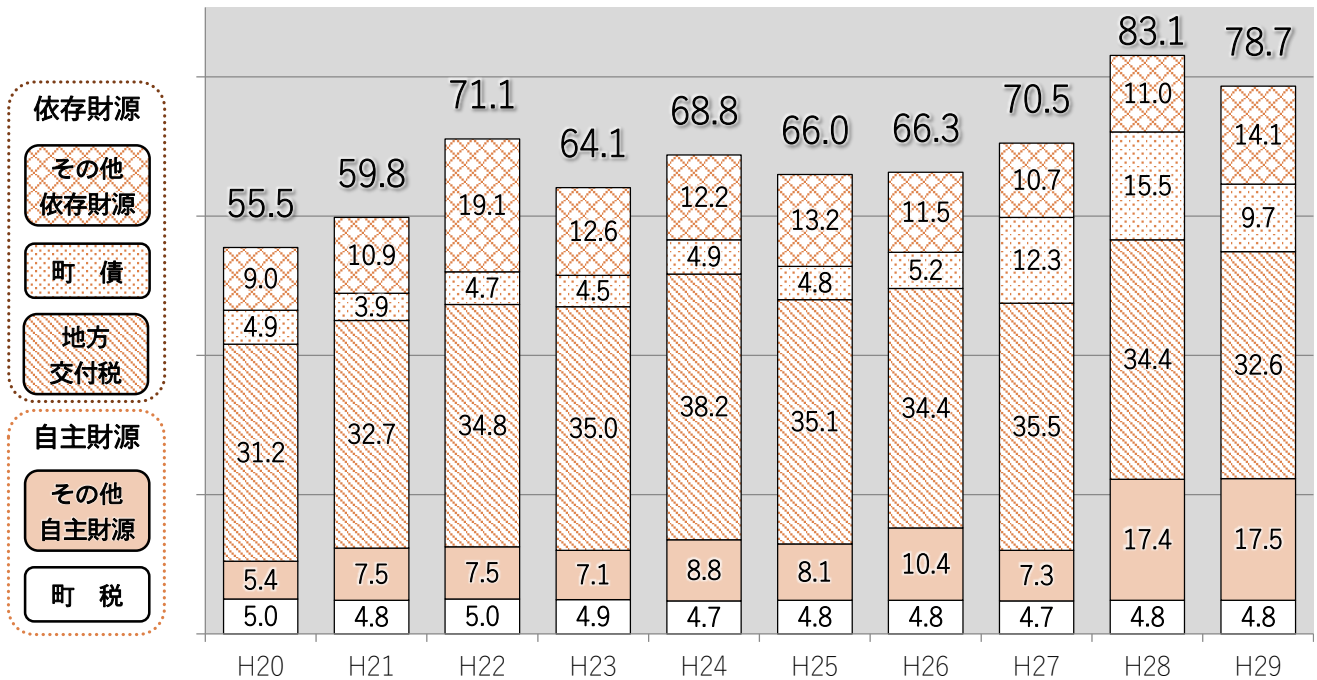


## ■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成 29 年度の町の一般会計決算額は、歳入が 78 億 7,204 万円（前年度比 4 億 3,518 万円、5.2%の減）、歳出が 72 億 3,176 万円（前年度比 1 億 81 万円、1.4%の増）となり、歳入歳出差引額は 6 億 4,028 万円（前年度比 5 億 3,599 万円、45.6%の減）の黒字となっています。

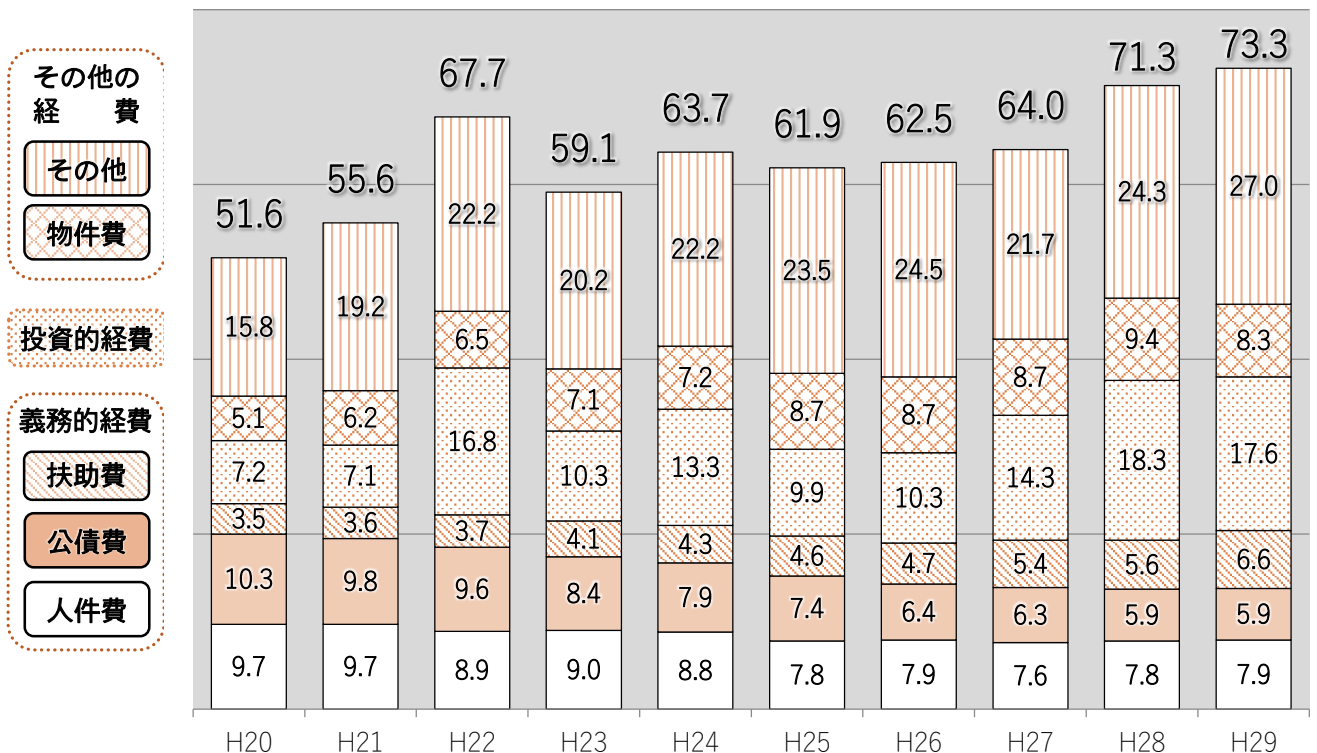
### ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



### ●歳出決算額の推移

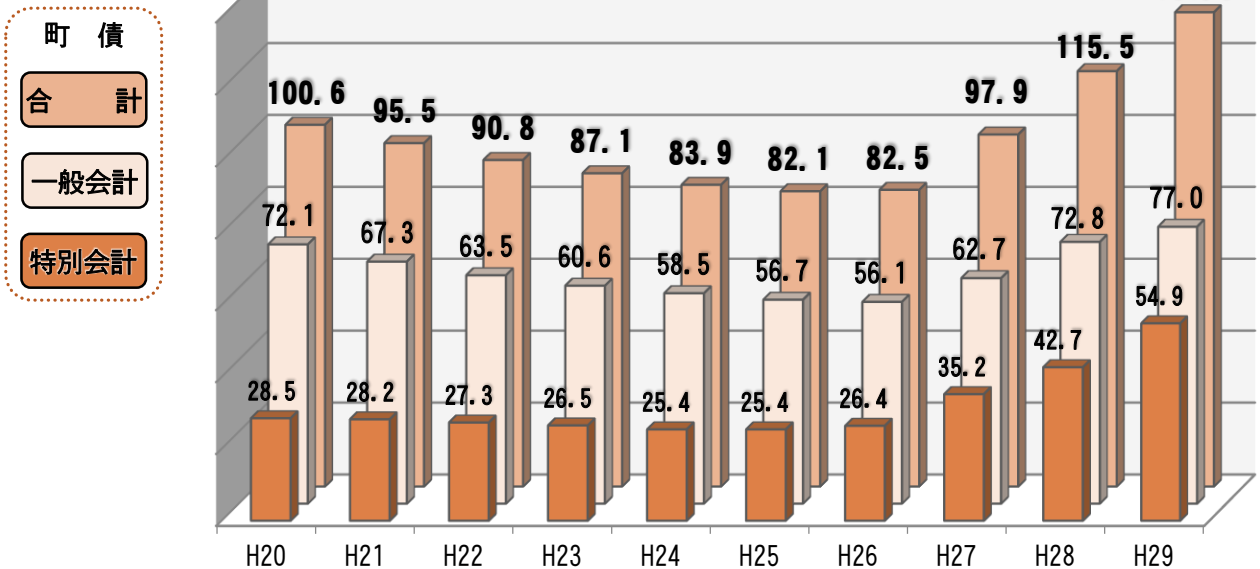
（単位：億円）



## 町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。一般会計では、養護老人ホーム改築整備事業やグリーンテージ改修事業などにより、特別会計では葛巻病院改築事業や江刈地区水道整備事業などにより増加し、借入残高は平成 28 年度に比べ 16 億 3, 544 億円（14. 2%）の増となっています。

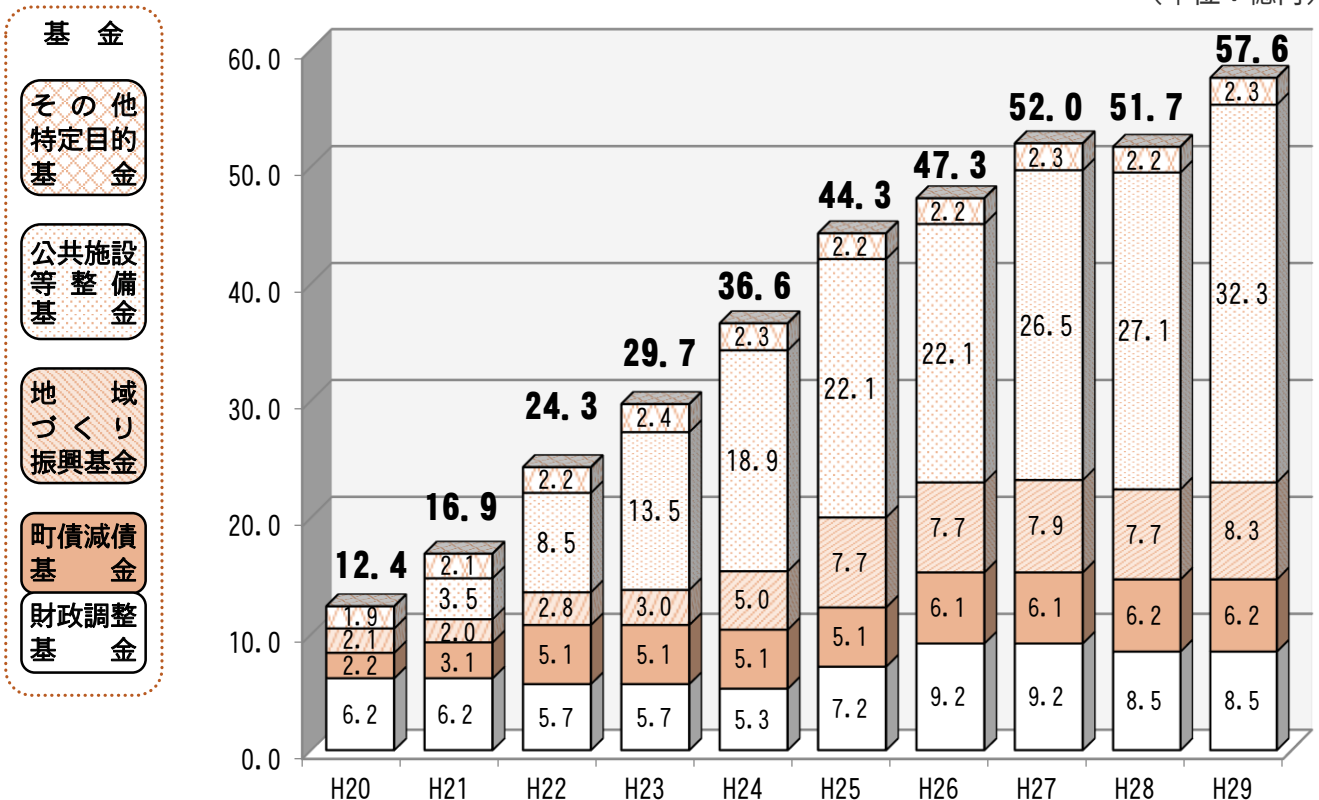
（単位：億円）



## 基金残高の推移

町の貯金である基金の平成 29 年度末の残高総額は 57 億 5, 721 万円で、前年度に比較して 5 億 6, 037 万円（10. 8%）の増となりました。積み立てた基金は、役場新庁舎建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

項目	平成 29 年度 決算 A	平成 28 年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	5.4 %	5.0 %	0.4 p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	-	-	350.0 %	
財政力指数	0.15	0.15	-		
経常収支比率	86.0 %	82.2 %	3.8 p t		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成 29 年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成 29 年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

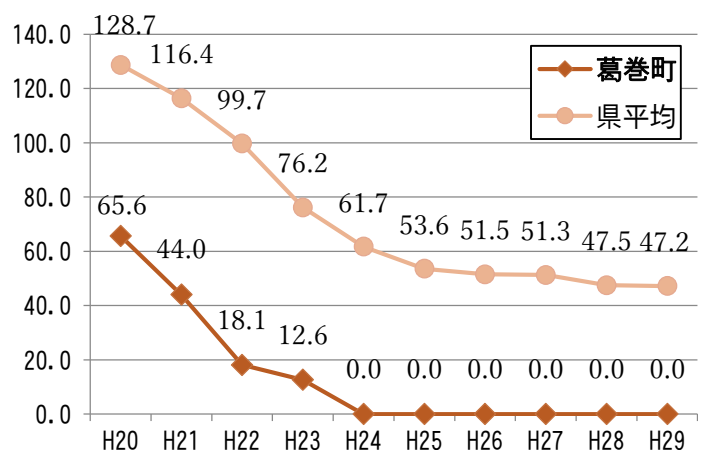
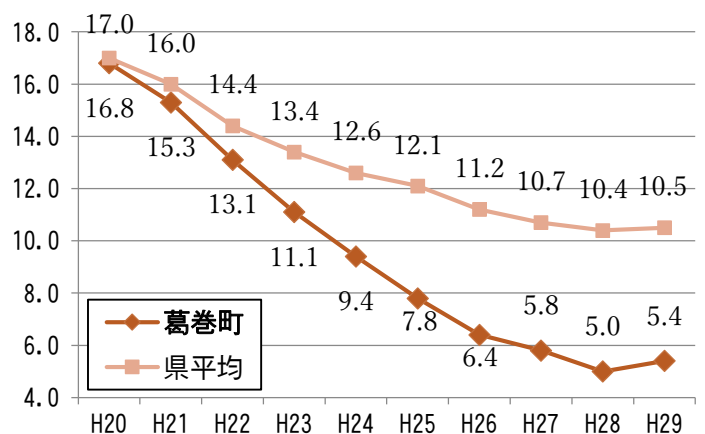
借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は 25% ですが、18% を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

町の平成 29 年度における実質公債費比率は 5.4% で、前年度と比較して 0.4 ポイント上昇しています。

### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成 29 年度における将来負担比率は前年度に引き続き、比率なし (0.0%) となりました。



## ■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の平成29年度の財政力指数は0.15で、前年度と同値となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

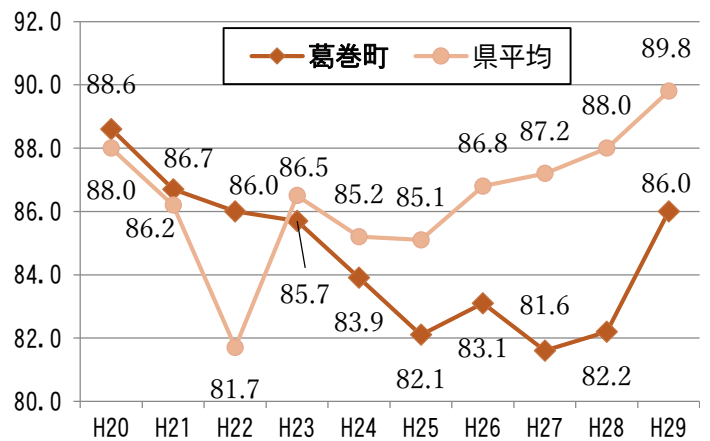
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

## ■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

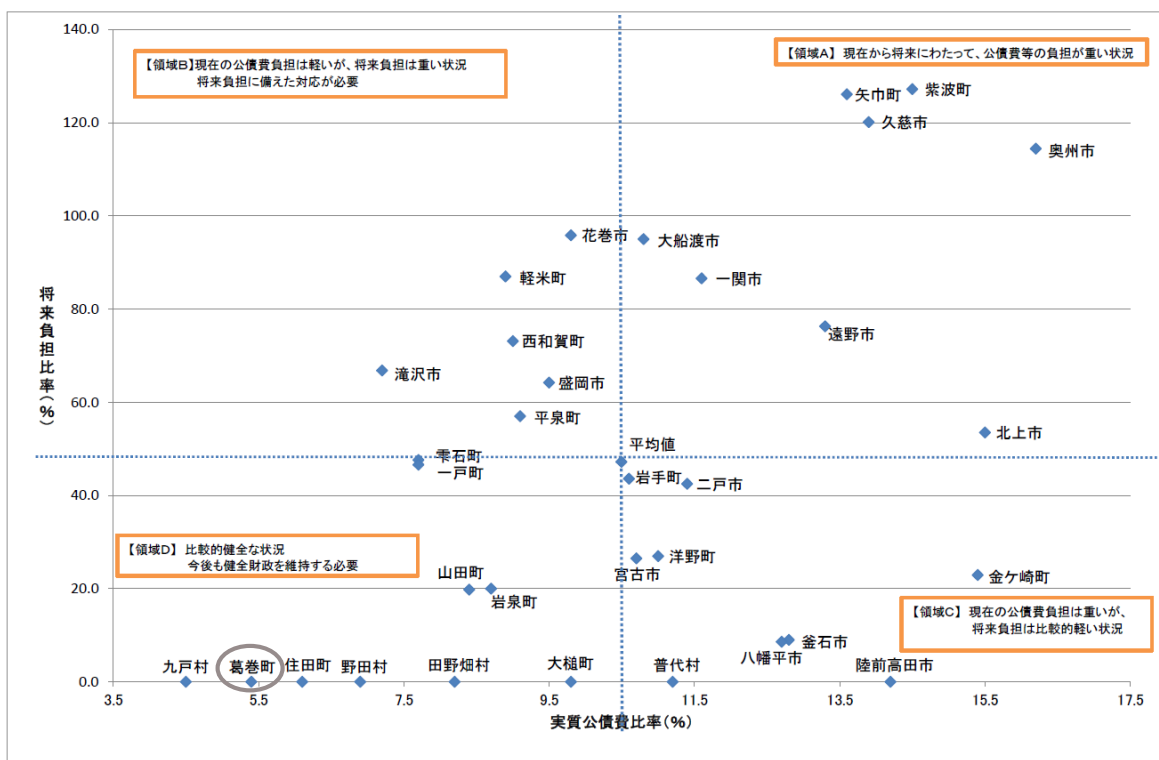
町の平成29年度の経常収支比率は86.0%で、前年度と比較して3.8ポイント上昇しています。



## ●平成29年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成29年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成29年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	6,026	5,972	54	54
盛岡北部行政事務組合	6,979	6,867	112	112
岩手県市町村総合事務組合	11,295	10,917	378	378
岩手県自治会館管理組合	55	51	4	4
岩手県後期高齢者医療広域連合	161,303	157,420	3,883	3,883

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社)葛巻町畜産開発公社	▲9	392	189	5	246
(株)グリーンテージくずまき	3	35	20	2	-
(株)岩手くずまきワイン	11	266	40	1	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所(株)	7	▲163	3	-	-
葛巻町森林組合	3	110	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

# 平成29年度 まちの財務書類

## ■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④キャッシュ・フロー計算書」を作成しています。

養護老人ホーム葛葉荘などの整備により有形固定資産が増加した一方、財源として借り入れた地方債が増加していることがわかります。

「投資・出資・貸付金等」が大きく増加しているのは、平成29年度決算分から新たに水道事業会計と連結することに伴う「無償所管換等」によるものです。

## ■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産(土地、建物、基金など)がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたのかを表す財務書類です。

### ●貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

[資産の部]	平成29年度	平成28年度	差引増減	[負債の部]	平成29年度	平成28年度	差引増減
固定資産	21,852,341	20,405,980	1,446,361	固定負債	8,225,333	7,875,487	349,846
有形・無形固定資産	15,207,653	14,959,322	248,331	(1)地方債	7,147,326	6,733,011	414,315
(1)土地	1,393,151	1,338,135	55,016	(2)退職手当引当金	1,047,206	1,103,812	△ 56,606
(2)立木竹	98,896	86,568	12,328	(3)その他	30,801	38,664	△ 7,863
(3)建物	5,517,430	4,665,943	851,487				
(4)工作物	522,455	306,753	215,702	流動負債	634,305	672,001	△ 37,696
(5)インフラ資産	7,508,571	7,834,032	△ 325,461	(1)1年内償還予定 地方債	554,294	546,898	7,396
(6)物品	153,812	127,908	25,904	(2)賞与等引当金	46,311	44,445	1,866
(7)その他	13,338	599,983	△ 586,645	(3)預り金	33,700	80,658	△ 46,958
				<b>負債合計</b>	<b>8,859,638</b>	<b>8,547,488</b>	<b>312,150</b>
出資金・貸付金等	6,644,688	5,446,658	1,198,030	<b>[純資産の部]</b>	<b>平成29年度</b>	<b>平成28年度</b>	<b>差引増減</b>
(1)投資・出資・ 貸付金等	1,638,627	1,031,089	607,538	資産合計－負債合計	14,524,516	13,972,805	551,711
(2)基金	5,006,061	4,415,569	590,492	=純資産合計			
①減債基金	620,821	620,815	6				
②特定目的基金	4,385,240	3,794,754	590,486				
流動資産	1,531,813	2,114,313	△ 582,500				
(1)現金預金	673,976	1,256,925	△ 582,949				
(2)未収金	4,893	4,452	441				
(3)財政調整基金	852,944	852,936	8				
<b>資産合計</b>	<b>23,384,154</b>	<b>22,520,293</b>	<b>863,861</b>	<b>純資産合計</b>	<b>14,524,516</b>	<b>13,972,805</b>	<b>551,711</b>

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり  
換算すると



資産 372万円 (H28: 351万円)	負債 141万円 (H28: 133万円)
	純資産 231万円 (H28: 218万円)

※葛巻町の人口 6,279人 (H30.3.31現在)

## ■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	59.0億円	収益	4.6億円
<b>人にかかるコスト</b>		<b>日常的に受ける収益</b>	
給与や退職引当、共済掛金等	8.6億円	使用料、手数料	0.5億円
<b>物にかかるコスト</b>		その他経常収益	4.1億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	24.2億円	<b>臨時的に受ける収益</b>	
<b>移転支出コスト</b>		引当金の取崩しなど	－億円
社会保障給付費や補助金など	24.4億円	<b>純行政コスト</b>	<b>54.4億円</b>
<b>その他のコスト</b>		不足する54.4億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	
支払利息、火災保険料等	0.6億円		
臨時に係るコスト	1.2億円		

## ■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	139.7億円
純経常行政コスト	▲54.4億円
税収等	40.4億円
補助金等受入	12.1億円
その他	7.5億円
期末純資産残高	145.3億円

## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

<b>1 業務活動収支 A</b>	<b>7.3億円</b>
業務支出	49.2億円
業務収入	52.4億円
臨時支出	－億円
臨時収入	4.1億円
<b>2 投資活動収支 B</b>	<b>△16.8億円</b>
投資活動支出	17.6億円
投資活動収入	0.8億円
<b>3 財務活動収支 C</b>	<b>4.1億円</b>
財務活動支出	5.6億円
財務活動収入	9.7億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	△5.4億円
前年度末資金残高 E	11.8億円
本年度末資金残高(D+E) F	6.4億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.3億円
本年度末現金預金残高(F+G)	6.7億円

一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。

まちの情報発信アプリ

# ライフビジョン で もっと暮らしやすく!

アプリ利用料：無料  
※通信料はお客様負担になります

カレンダーで  
イベントをチェック!

UIターン希望者へ  
おすすめ情報あり!

観光ガイドブックも  
見られる!

くらしに役立つ  
生活情報あり!

町の魅力を紹介!

災害時に  
役立つ情報がある!

「広報くずまき」や  
「くずまきトピックス」が  
見られる!

普段からお使いのスマートフォンに、町のお知らせが通知!  
町外にお住まいの方にもおすすめ!

## お知らせします! まちの行財政 2019

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場  
総務企画課行政改革係までお気軽にお寄せください。

電話番号 0195-66-2111 (内線 214)  
ホームページ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※この冊子の印刷費は、1冊あたり約135円です。

ダウンロード用QRコード

